

かつたっ子

15の春プロジェクト だより

令和5年9月1日発行

勝田中学校区保幼小中連携

つなぐ推進委員会

発行責任者 R5 No.1

勝田中学校長 西川 裕

かつたっ子15の春プロジェクトについて

夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく生き抜く力を育む

令和5年度も『かつたっ子 15の春プロジェクト』（夢や目標に向けて努力し、自立する力をつける取組）を中学校区全体ですすめていきます。新型コロナウイルスも5類に移行され、今まで以上に勝田ひまわり園、勝田小学校、勝田東小学校、勝田中学校の4校園とのつながりを強固にできればと思います。お互いの学校間の交流や連携を深めることで、勝田地区の園児・児童・生徒の15年間の学びと育みを途切れることなくつなぎ、中1ギャップや小1プロブレムといった問題点の解消（新しい環境でも素早く適応）する力を養っています。また、学区の子ども達に伸ばして欲しい力について中学校区を一つの単位として考え、苦手だと思える事柄について義務教育終了までの15年間で継続指導・改善していきます。

現代の子たちは、Society5.0と呼ばれる時代（いくつかのキーワードを入れるだけで、人間が考えたものと何らそん色なく人工的に文章・会話を作れるようなパソコンソフトの普及やAI（人工知能）よりも更に一步進んだ生成AIの進歩で変化していく時代）で急速に世の中がガラリと変化していく中でも、たくましく生きていかなくてはなりません。そんな時代の中では、目に見え点数化できる力（例えば、テストの点数）だけでは無く、「非認知能力」を養うことが必要になると言われています。非認知能力とは、数値化できない「生きていくために必要な力」のことです。これについては、たくさんありますが、例をあげると以下のようなものがあります。

自己肯定感：自分に良いところがある、自分が好きだと思えること

セルフコントロール力：自分の気持ちをコントロールすること

社交性：他者とのコミュニケーションがとれること 等

『かつたっ子 15の春プロジェクト』では、上記の力を高めるために中学校区の教職員を4つの研究部会に分け研究をすすめています。子どもたち同士の「思いやり」「感謝」「周りの友だちとの関わり」などから心をつなぐこと、「時間を守る」「あいさつや返事」「掃除・片付け」から育ちをつなぐこと、「聞くこと・話すこと」を中心にしたグループ学習や日々の授業改善で学びをつなぎ、かつたっ子の夢をつなぐことに一丸となって取り組んでいます。このプロジェクトでは、保幼小中の発達段階にあわせたゴール目標『学びと育ちの連携表』（家庭版・教職員版）を設定しています。この連携だより NO.1 裏面にて家庭版を紹介させていただきます。

また、新しい言葉ですが、コミュニティ・スクールといった取組についてもこれから先、各学校園で取り組んでいきます。これは全く初めてのことがはじまるのではなく、今まであった地域と学校のつながりを大切にし、お互いが協力して一緒にかつたっ子を育てていこうというものです。目指す子ども像をお互いが共有し、学校と地域が一緒にかつたっ子を育てていくというものです。これからは地域の中の学校では無く、地域とともにある学校。子どもも大人も学び合い育ち合う体制や学校を核とした地域づくり。学校だけでは解決できない課題や問題も地域の方と一緒に考えていく。また、地域のために貢献できるかつたっ子を育てていく。連携・協働といったつながりを大切にしていきたいと思います。本年度もご家庭・地域の皆様『With（ウィズ：一緒に）かつたっ子』でよろしくお願いいたします。



「かつたっ子15の春プロジェクト」保幼小中合同PTA

合同研修会 R5.7.26「地域と学校の連携・協働のあり方」

～コミュニティ・スクールと地域協働活動の一体的推進～



項 目		保育園 (4・5歳児)	小 学 校			中 学 校
			低学年	中学年	高学年	
家族の 一 員	親子の ふれあい 家族の かわり	○スキップをしたり、子どもに話を傾けたりする。	○学校の様子を聞く	○しっかりと話を聞く	○夢や目標について話し合う	○子どもの夢や目標に共感し、進路について話し合う
		○ありのままの子どもを受け止め、認める 褒める	○一緒に遊ぶ	○地域の行事と一緒に参加する	○地域の行事と一緒に参加する	○悩みを聞いたり励ましたりする
		○よいこと、いけないことを教える	○いけないことは叱り、よいところは認めてほめる	○まちがいの理由を考えさせる	○子どもの思いや考えを聞いてやり、どうすればよいか話し合う	○善悪の判断が正しくできるよう助言する
		○お手伝いをさせる	○お手伝いをさせる	○できる仕事を見つけてさせる	○家族の一員としての仕事を与える	○家族の一員としての仕事を与える
家 庭 ・ 地 域 で						
生活リズム	光・暗やみ・外遊び		○朝 太陽の光を浴びる			○夜 照明を暗くする
	寝る時刻	○9:00までに寝る	○9:00までに寝る	○9:30までに寝る	○10:00までに寝る	○11:00までに寝る
	睡眠時間(目安)	○9時間以上	○9時間程度			○7時間程度
	あさごはん		○毎日、きちんと食べる			
	メディア(テレビ・ゲーム スマホ・SNS)	○約束を守り、子どもだけで長時間遊ばないようにする	○テレビやゲーム、スマホ・インターネットの時間のやくそくを決める ○保護者は、約束が守れているか定期的に確認する ○フィルタリングをかける			○家庭のルールを話し合い、守らせる ○子ども自身がセルフコントロールできるように励ます
あいさつ・返事			○明るく元気なあいさつや気持ちのよい返事ができるよう励ます ○保護者が手本を示す			○会釈や心のこもったあいさつを自分からする ○地域の方へ、自分からあいさつをする
						○課題は期限を守って完全に提出できるよう声をかける ○自分で計画的に取り組むようにさせる ○予習や復習を習慣化させ、自分の苦手なところを克服できるよう励ます ○自分の目標・夢の実現に向けて自主学習に取り組む。
家庭学習	学 習	○あいさつ、返事を教える ○保護者が手本になる	○保護者が見守る ○家庭学習が習慣化するよう一緒に取り組み、励ましの声をかける	○取り組みだプリントやノートを保護者が確認し、褒める	○自分の力で取り組み始めるように保護者が励ます	
	読 書	○絵本の読み聞かせをしよう	○親子読書を楽しもう	○自分で好きな本を見つけて読めるようにしよう	○時間を見つけて本を読むようにしよう	○時間を見つけて読書しよう